

**(第135回) 麻雀大会 —近藤裕行氏(初優勝)—**

大会の開かれた10月11日は、雀荘利一からそう遠くでもない築地市場が閉鎖され、80年以上も日本の食の流通を支えてきた役割を新たな豊洲市場に移管する日でありました。朝から各報道機関のTVが中継やコメント等慌ただしく報道しておりましたね。

当日は曇りで、若干雨模様の中、12時より静かにして内に激しい闘志を秘めた戦いが、4卓を囲んで始まりました。<栗川さんが所用で欠席され、服部さんがピンチヒッターで参戦。>

戦いは一時間ごとに組み合わせを変えて四回実施。四回目は成績順の組み合わせでの熾烈な戦いとなります。

今回の栄えある優勝者は近藤裕行さんで、初めての優勝との事！この記事を書かせていただいている私は三回

目で、近藤さんと同じ組となり、大変な目に遭いました。

東の一局目、親の近藤さんに5巡目位のときにリーチされ、親の四ツが捨て牌ゆえ、筋の一ツを捨てたところ、当たりで親の撥ね満貫を払う羽目に！その後の近藤さんのツキ<腕？>は今までに見たこともない程凄く、素晴らしく<羨ましい・。>六本も積まれました。

最後の4回目の上位4人の戦いでもトップとなられて断トツの優勝でした。おめでとうございます。

さて、NY株式相場の大幅下落を受けて、当日の東京株式市場も大幅下落及び世界的な株安連鎖などの誠に大変な一日でした。<筆者はオールマイナスの最下位でした。> (大西 建男・記)

**優勝記**

当会に参加して約5年、15回目の出場です。初めて優勝し、大変嬉しく存じます。



今日は2回戦目以降、親での連チャンに恵まれたことが、最大の勝因でした。これはひとえに、月1回荻窪で開催される「大和屋学校」で、諸先輩にしぶとくかつ楽しくご指導をいただいた成果と、感謝しております。

健康と少しの財布を持ち寄り、また楽しく集まりましょう。ありがとうございました。(近藤 裕行・記)

アイアン・クラブに入会したお蔭で、20年以上中断していた麻雀をまた開始し、交友の幅がさらに広がりました。年寄りの頭脳体操として昨今推奨されていますが、なんといっても若い時に熱中した思い出がよみがえり、青春時代に回帰できます。若い人たちの参加も大歓迎です

健康と少しの財布を持ち寄り、また楽しく集まりましょう。ありがとうございました。(近藤 裕行・記)

